

令和5年度 Stanford e-Wakayama 実施要項

1 概要

Stanford e-Wakayama は、県教育委員会がスタンフォード大学と連携して提供する和歌山県の高校生向け同時双方向型オンライン遠隔講座で、スタンフォード大学専任講師や現地起業家等による講義、及びディスカッションやプレゼンテーションなどを行う。オールイングリッシュによる1回90分の講座を10回程度実施し、全講座終了後、受講者一人一人が「英語によるプレゼンテーション」を行う。

2 目的

Stanford e-Wakayama を通して、海外大学への進学など、世界に挑戦しようとする気持ちをもった生徒、ディベート力や使える英語を身に付けた高校生リーダーを育成する。

3 主催

和歌山県教育委員会

4 対象

県内の高等学校、特別支援学校（高等部）及び高等専門学校の1・2年次に在籍する者（30名）

5 期間

令和5年9月～令和6年3月

6 実施日・時間

土曜日 午前10時～11時30分

7 実施場所

受講者の自宅等（インターネットに接続できる環境）

8 講座内容

10講座（毎月2回程度を予定）

テーマは別紙「講座テーマ一覧」を参照

9 講座の流れ

- （1）事前学習：スタンフォード大学から配信される動画の視聴及び関連資料の確認
- （2）実施日当日：スタンフォード大学専任講師等による講義、質疑応答及び意見交換
- （3）事後課題等：課題レポートの提出及びオンライン掲示板での意見交換

10 受講費用 無料

11 応募要件

- (1) 在籍校校長の推薦を受けた者。
- (2) 県内の高等学校、特別支援学校(高等部)及び高等専門学校の1・2年次に在籍していること。
- (3) 英検準2級程度以上の英語力を有していること。また、英語でのディスカッション等に積極的に参加でき、事前、事後の課題等にも適切に取り組めること。(課題等に取り組むため週3～4時間程度が必要)
- (4) 90分のオンライン講座の受講に必要な通信環境やパソコン(タブレットも可)、e-mailアドレスを用意できること。(許可を得て学校等の機器を使用した受講も可)
- (5) 本講座終了後、県教育委員会が主催する事業(アジア・オセアニア高校生フォーラム等)や成果発表等に参加、協力できること。

12 応募方法及び応募期間

- (1) 応募者は、受講申込書(様式1)、講座テーマの考察(様式2)を学校に提出する。講座テーマの考察(様式2)については2つの講座テーマを選び、それぞれ作成、提出すること。
- (2) 学校は、推薦書(様式3)を応募者ごとに作成し、応募者から提出された受講申込書(様式1)、講座テーマの考察(様式2)2部とともに県教育委員会に提出する。
- (3) 11(3)の英語力を証明するもの(合格証等の写し)を添付すること。
なお、英語力を証明するもの(合格証等の写し)がない場合は、推薦書(様式3)の「3. 推薦生徒の英語力に関連する記載事項」の欄に、応募者の英語力の詳細を記載すること。
- (4) 応募期間は令和5年5月1日(月)から5月19日(金)とする。
(各学校ごとにデータをPDFに変換し、電子メールにて送付してください。)

13 選考

- (1) 県教育委員会は、応募要件を満たす者に対して書類審査を行い、書類審査を通過した者には英語による面接(オンラインを予定)を実施した上で、総合的に選考を行う。
- (2) 選考結果は令和5年6月下旬に、県教育委員会が応募者の在籍校校長に通知する。

14 その他

- (1) 自宅等での受講に要する通信費は各自の負担となります。
- (2) 受講式と修了式を和歌山市内で開催(スタンフォード大学とはオンラインで接続予定)する予定です。参加するための交通費は県教育委員会が負担します。
- (3) 所定のプログラムを修了した受講者に対し、スタンフォード大学が修了証を授与します。
- (4) 授業は録画され、復習目的等で視聴する受講者を対象に公開します。
- (5) 受講中の様子を撮影した映像・画像や受講者の感想等を、事業紹介や受講者募集を目的としたポスター、報道機関への資料提供などに利用することがあります。